



富士見市立東中学校

11月号

こ ち  
東中だより 東風



【学校教育目標】 『夢や希望をはぐくみ、一人一人が輝く学校』

巻頭言

校長 菅野 誠一

### 暮秋のトワイライトに

秋の黄昏（たそがれ）ときは、人々の胸中を孤愁と慕情で“暮色”に染め上げます。『この道や 行く人なしに 秋の暮』（松尾芭蕉）言い知れぬ寂しさに包まれた野中の一本道が続く薄暮が眼前に広がります。ふと、寂寥感が漂う「道の景」に、芥川龍之介の短歌が浮かびます。『幾山河 さすらふよりも かなしきは 都大路を ひとり行くこと』“人の間”に渦巻く孤独感が炙り出され、人間の心模様を言い当てているかのようです。今、ソーシャルディスタンスともなっている“人の間”には、冷たい隙間（すきま）風が容赦なく吹き込み、誰もがかじかんだ心で“都大路をひとり行く”かのごとく生きています。コロナウィルスから身を守りながら歩いてきた道筋をたどると、地面に残した足跡のくぼみはどれも、悲涙の水溜まりとなっていることに気づきます。人恋しい秋ゆえでしょうか、とっぴりと日が暮れる頃になると、どっぴりと涙に暮れるこの頃です。

さて、夕暮れの秋、群れをなして飛んでいるカラスの姿は、夕焼け色の“障子”に投影された黒い“影絵”を思わせます。地上で生ゴミをつついて荒らすカラスのくちばしが、真っ赤な夕陽が照る美しい大空では「罫（ねぐら）はこっちの方だよ。」と方角を指す黒い矢印のように見えてもきます。『秋の野犬ほつんと日暮れて』渥美清さんの残した句です。夕闇が迫る中、カラスのように群れる仲間もいない、帰る“罫（ねぐら）”もない孤独な犬を思えば、『犬』の字の中に「一人」の字が小さく見え、逞しく強く生き抜く孤高の犬を思えば、『犬』の字の中に「大」の字が大きく見えてきます。

「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」…。釣瓶の桶が井戸の底へ急速に落下していく音が、人里へ落陽を告げる鐘の音に聞こえてきます。そして、暮秋のトワイライトが家々の明かりを次々と灯していくような「夕の景」を心に描きます。井戸の底へ落ちた釣瓶の桶を、翌日にいつも引き上げてくれているのは、夜明け方の“一番鶏”でしょうか。紅葉（もみじ）が可愛い“手”となって拍手する中、井戸の穴が大きな“口”となって歌い出しそうです。「♪秋を愛する人は 心深き人♪」井戸の深さと秋の深さに人の心の深さを重ねつつ、心深き人に今日もいっぱい出会えそうな予感がする秋の朝です。

## 10/28 (水) 第45回合唱祭を開催しました



いなほ学級と有志合唱団 『ふるさと』

【最優秀賞】

1年2組 2年1組 3年2組

【特別賞】 いなほ学級と有志合唱団

【指揮者賞】

【伴奏者賞】

## 富士見市駅伝大会(10月26日)結果 男女ともに惜敗

男子

女子

## 《生徒会募金活動を実施しました》

「令和2年7月豪雨災害募金」活動を生徒会が中心となって、校内と隣接の富士見高校で実施し、合計50,187円が集まりました。



校内募金活動 (9/14~18)



高校生との合同募金活動 (9/24、25)

## 11月のおもな行事予定

2日(月)後期時間割開始

13日(金)学校保健委員会(3年)

4日(水)総合集金⑥ 全校三者面談①

17日(火)3年受験用写真撮影(希望者のみ)

5日(木)歯科検診 全校三者面談②

18日(水)ふれあいデー

新人県大会(女子ソフトテニス個人)

19日(木)2年生保護者会(修学旅行関係)

6日(金)心電図(1年) 漢検②(放課後)

20日(金)耳鼻科検診 登校指導

7日(土)土曜授業④

1年生保護者会(ｽｷｰ-宿泊学習関係)

9日(月)生徒会専門委員会

21日(土)土曜授業⑤

10日(火)学校朝会 全校三者面談③

24日(火)生徒朝会

11日(水)全校三者面談④

25日(水)登校指導

12日(木)全校三者面談⑤

26日(木)期末テスト① 集団下校訓練

民生委員・児童委員との話し合い

27日(金)期末テスト②

「交通遺児等援護募金」のご協力ありがとうございました。(2,000円集まりました)